

## 【議案採決状況】

共産党は、市長提案議案に対して国保料、市営水道料引き上げ議案と2026年度予算案について反対しました。

共産党以外の他の会派、無所属議員は予算案など41件全ての議案に賛成しました。

# くらしひっ迫 市民負担増はダメ



反対討論

## 筋違い国保料引き上げ

国は「現役世代の負担軽減」をかかげながら、4月から現役世代を含む、すべての医療保険に「子ども・子育て支援金」を上乗せし徴収します。

税でも保険料でもない新たな負担を公的医療保険にまぎれ込ませて徴収するという、きわめて異例で筋違いの制度です。

今回の引き上げでは、1人当たり平均保険料が年額で現行114,200円から117,486円となり、率で約3%、金額で3,286円の引き上げとなります。

子育て支援を本気で強化するのなら国の負担で対応すべきです。今でも高くて払いきれない国保料の負担増は許せません。



## 市営水道料引き上げ

市の水道は、臨海部を給水区域とする県営水道と、内陸部を区域とする市営水道に分けられます。市営水道は2025年3月末現在で、市面積の約77%の区域、人口約4万2千人に給水しています。

県営水道はこの4月から平均18.6%料金が引き上げられており、それに合わせた形で、市営水道も同率の引上げです。

一般家庭では年間で現行32,280円が38,040円となり、5,760円の引き上げとなります。

